

川上地域の公共交通の課題と将来像(案) について

川上地域意見交換会

平成31年2月

1.アンケート調査結果の概要

- ・萩市全体
- ・川上地域

2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要

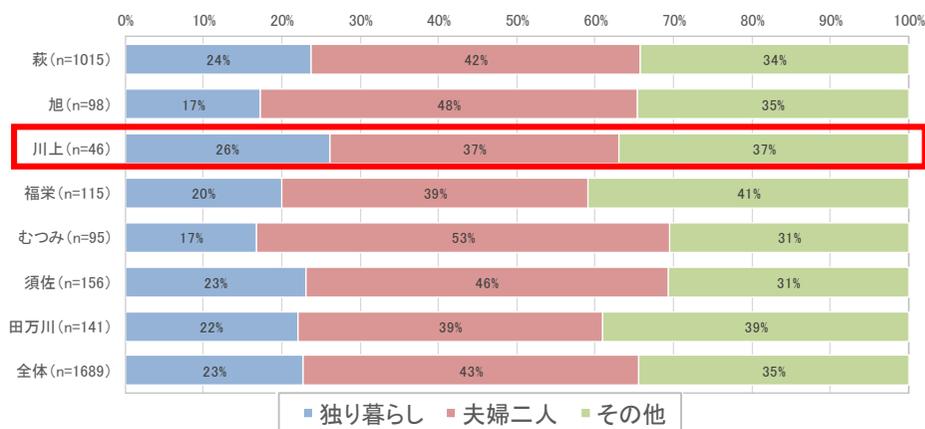
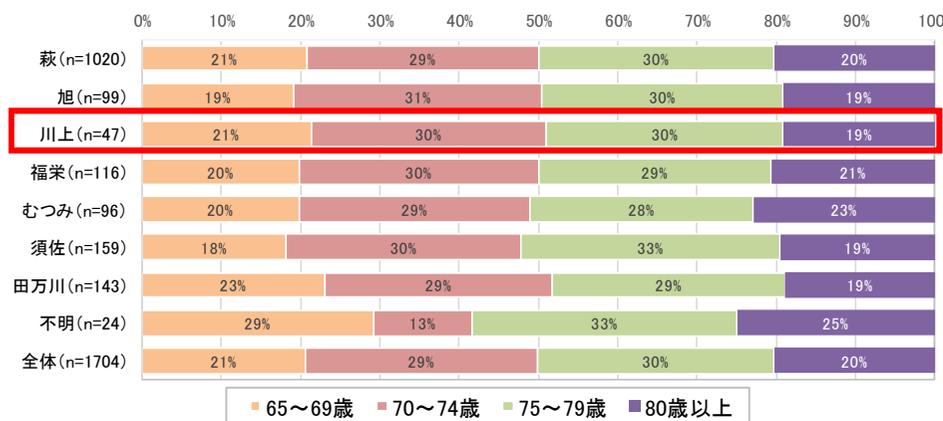
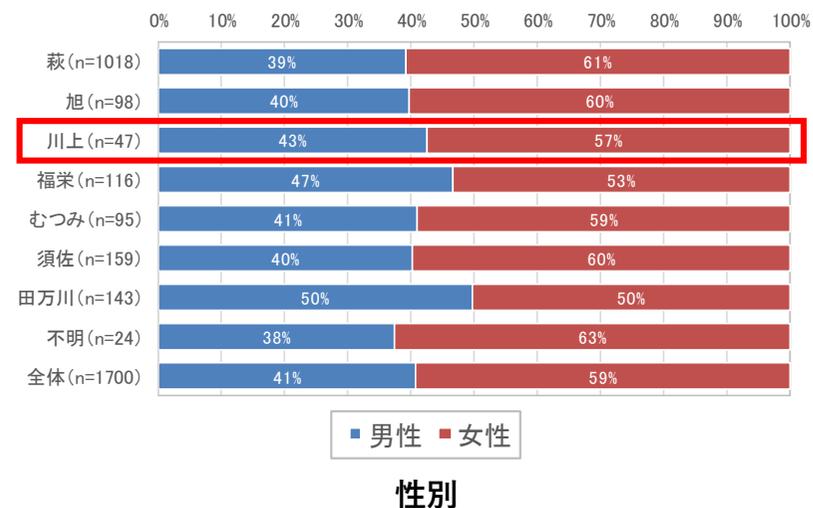
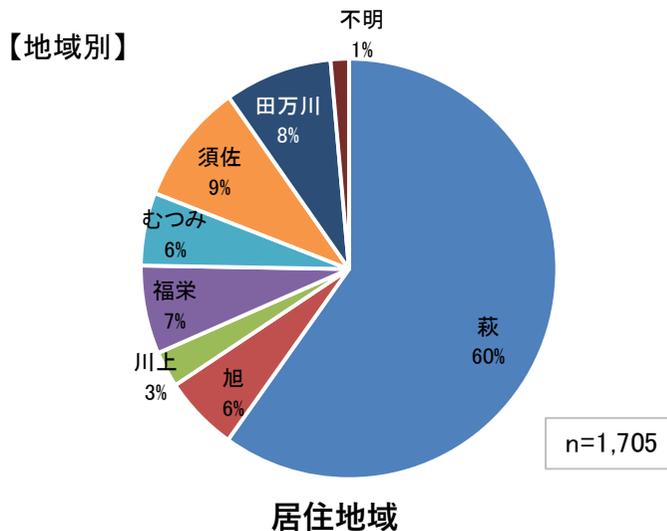
- ・路線バス(防長交通、中国JRバス)
- ・ぐるっとバス

3.高齢者生活支援バスについて

4.川上地域の公共交通の課題と将来像(案)について

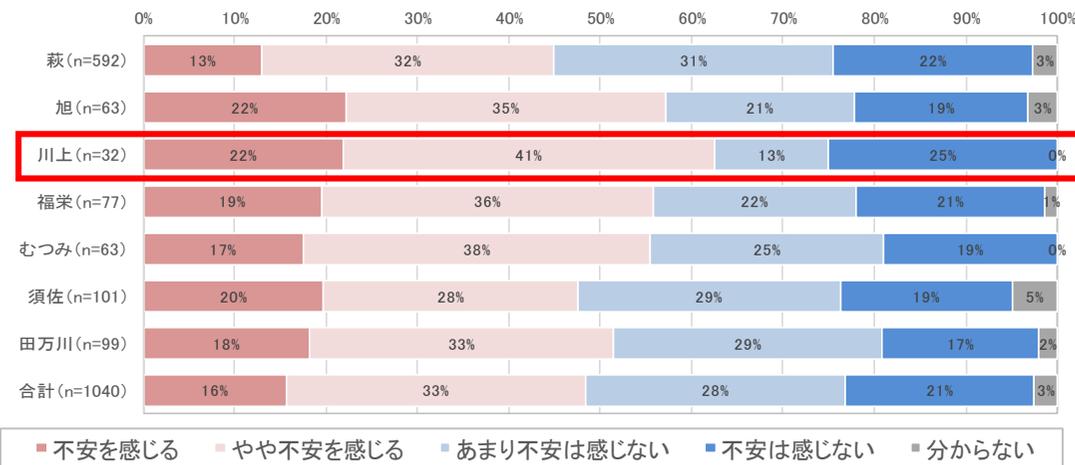
1. アンケート調査結果の概要（萩市全体）

- 市内に居住する65歳以上の方を対象にアンケート調査を実施しました。
- 無作為に抽出した2,000名の内、1,705名の方から回答が得られました。（回答率85%）
- 川上地域は、無作為に抽出した52名の内、47名の方から回答が得られました。（回答率90%）
- 居住地域・性別・年齢・家族構成などの回答者の属性は、以下のとおりです。

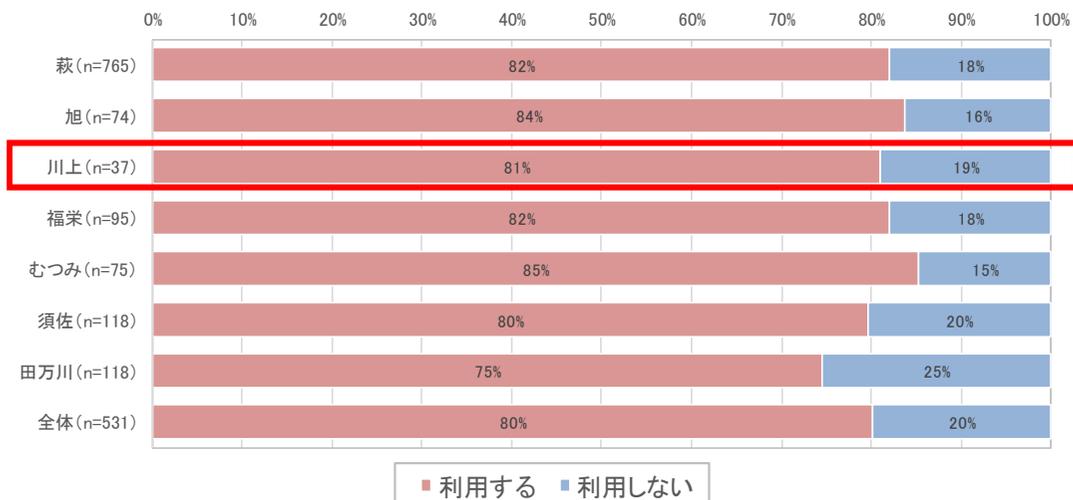


1. アンケート調査結果の概要（萩市全体）

- 自動車運転免許保有者の近い将来の運転への不安は、「不安を感じる」が2割、「やや不安を感じる」が3割であり、半数の方が近い将来の運転への不安を抱えています。
- 自動車の運転が不安になった場合、路線バス等の公共交通の利用意向は、「利用する」が8割を占めています。



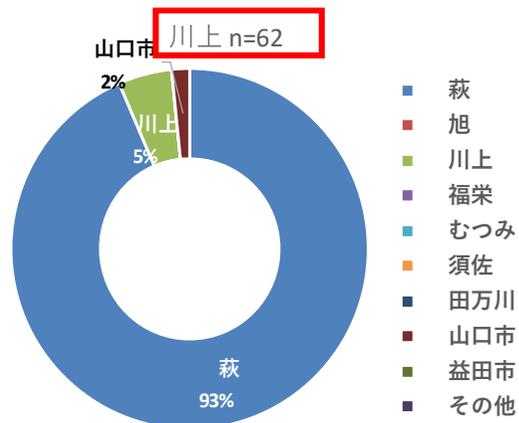
近い将来の運転への不安（自動車運転免許保有者）



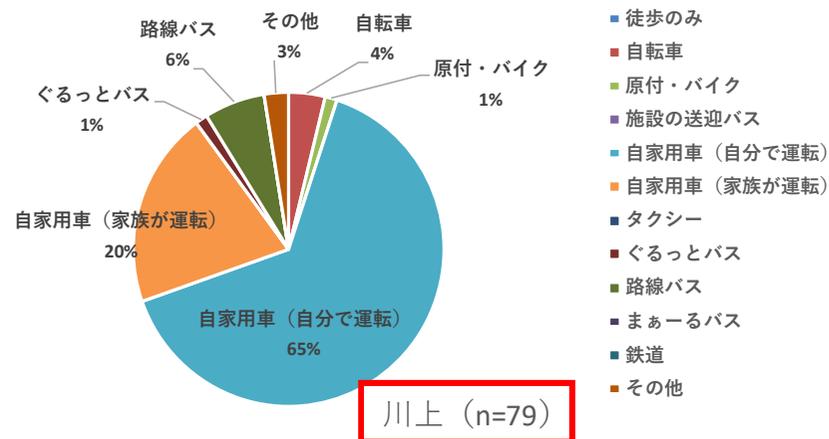
自動車の運転が不安になった場合、路線バス等の公共交通の利用意向

1. アンケート調査結果の概要（川上地域）

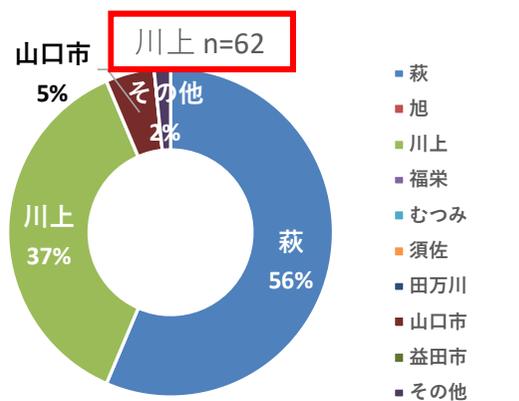
- 川上地域の高齢者の買物や通院は、萩地域や川上地域内への移動が多くみられます。
- 交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が6～7割、「自家用車(家族が運転)」が2割であり、公共交通（路線バス・ぐるっとバス）の利用は1割程度です。



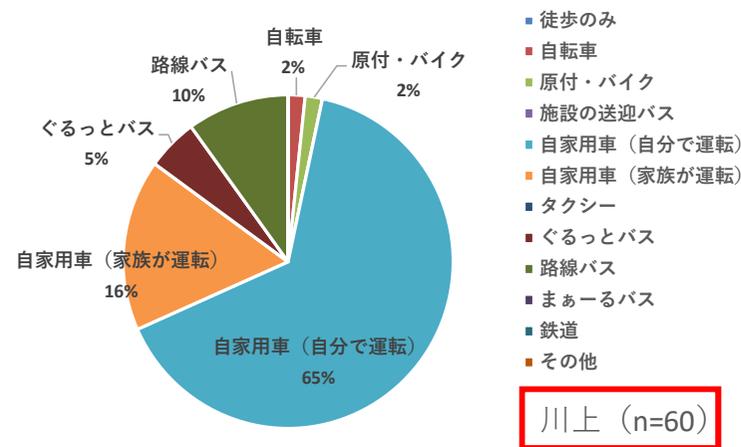
買物でよく利用する地域（お店）



買い物での交通手段



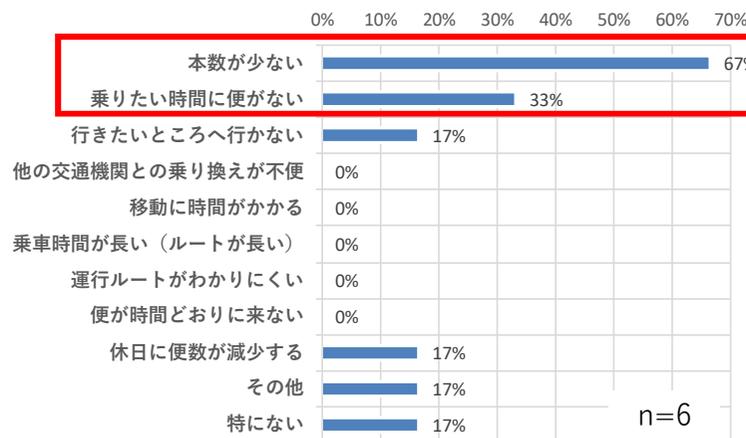
通院でよく利用する地域（病院）



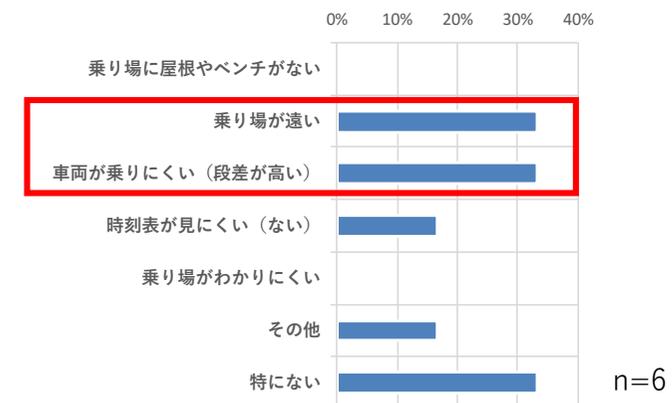
通院での交通手段

1. アンケート調査結果の概要（川上地域）

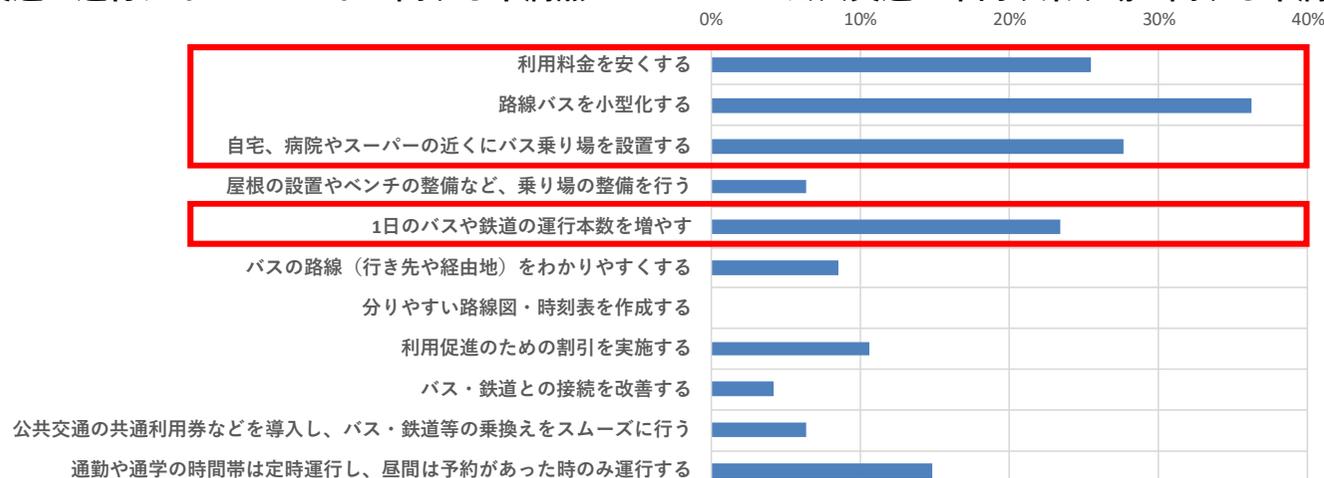
- 運行ダイヤ・ルートに関する不満点については、「運行本数が少ない」が7割、「乗りたい時間に便がない」が3割でした。
- 車両や乗り場に関する不満点については、「乗り場が遠い」が3割、「車両が乗りにくい」が3割でした。
- 今後の公共交通の見直しについては、「バスを小型化する」が4割、「自宅、病院やスーパーの近くにバス乗り場を設置する」が3割、「料金を安くする」が3割弱、「バスの運行本数を増やす」が2割でした。



公共交通の運行ダイヤ・ルートに関する不満点



公共交通の車両や乗り場に関する不満点



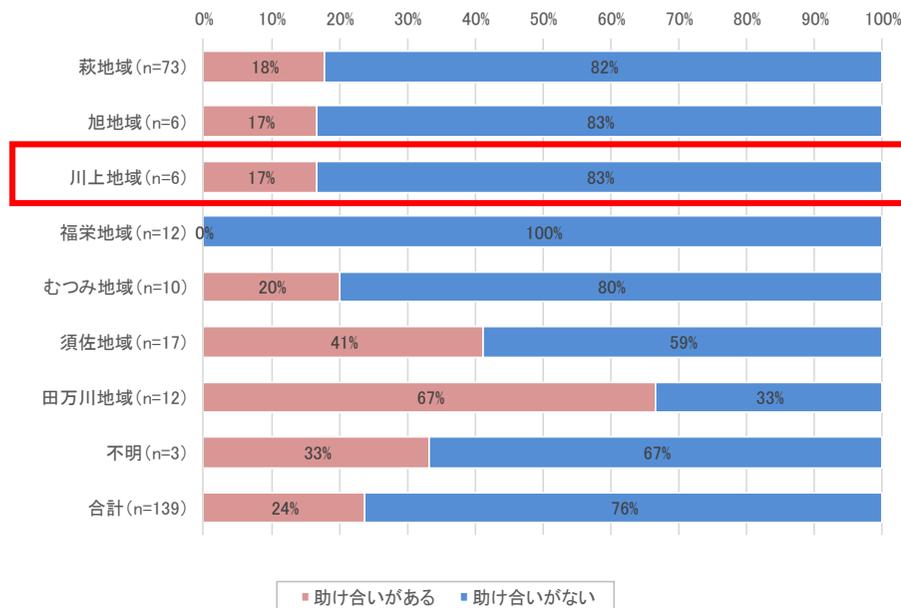
今後の公共交通の見直しについて

出典：住民アンケート結果（平成30年）

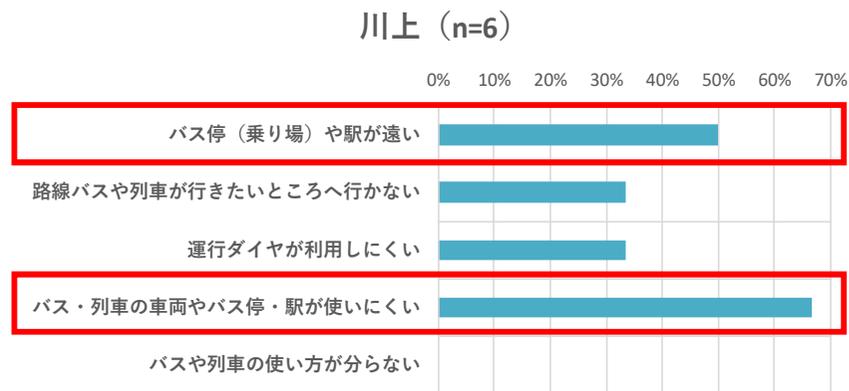
1. アンケート調査結果の概要（川上地域）

【民生委員アンケート調査結果】

- 民生委員173名 回答者数145名（川上地域民生委員回答者数6名）
- 川上地域内での移動に関する助け合い（買物や通院支援等）は、「助け合いがある」が2割、「助け合いがない」が8割であり、他地域と比較して助け合いの割合が低くなっています。
- 公共交通の問題点としては、「バス・列車の車両やバス停・駅が使いにくい」が7割、「バス停(乗り場)や駅が遠い」が5割でした。



地域内での移動に関する助け合い（買い物や通院支援等）

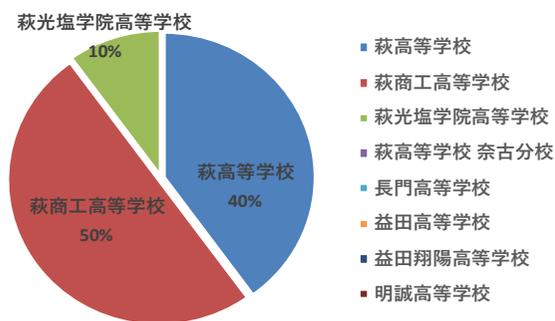


公共交通の問題点

1. アンケート調査結果の概要（川上地域）

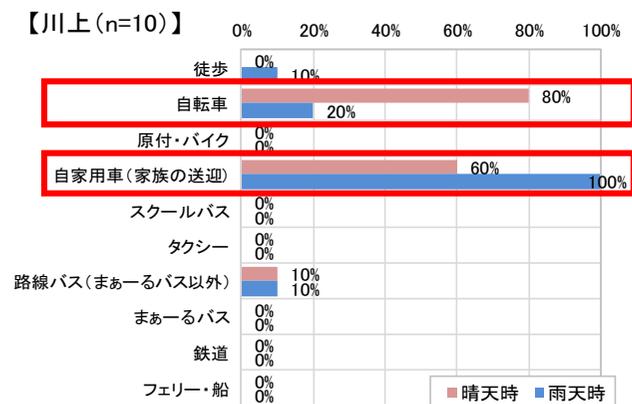
【高校生アンケート調査結果】

- 高校生986名 回答者数888名（川上地域高校生回答者数10名）
- 高校生の通学先は、全員が萩地域となっています。
- 通学手段は、「自転車」が8割を占め、雨天時は「家族の送迎」が10割に及び、公共交通での通学は1割程度となっています。
- 公共交通に関する不満点については、「運行本数が少ない」が4割、「最終便が早い」が3割となっています。

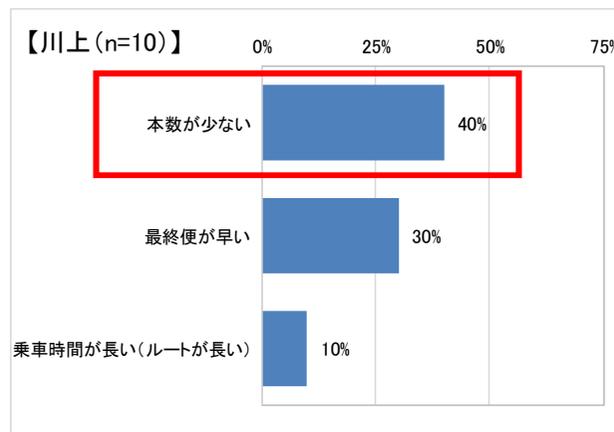


通学先

川上地域 (n=10)

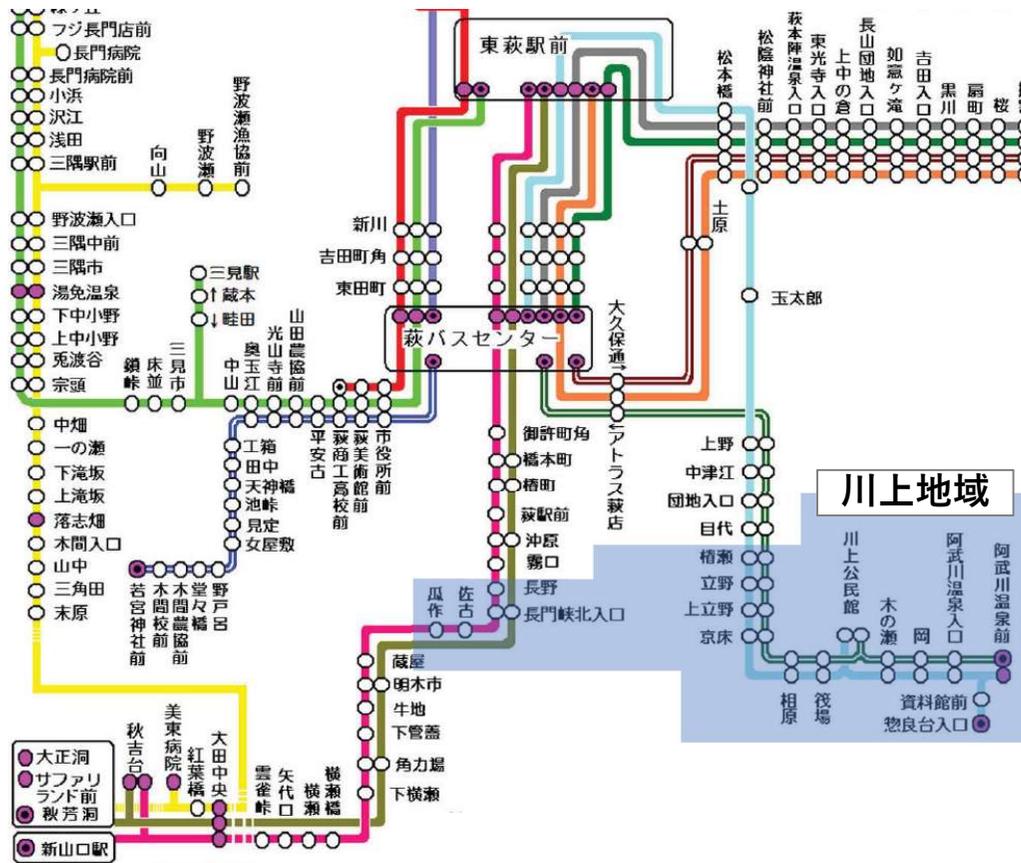


高校生の通学手段

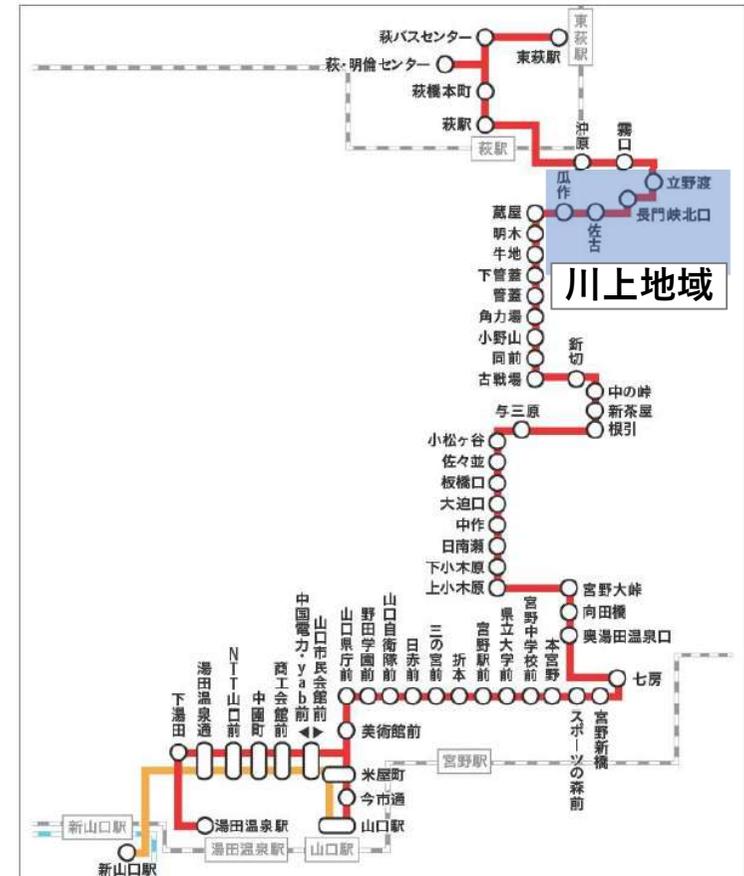


公共交通に関する不満点

2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)



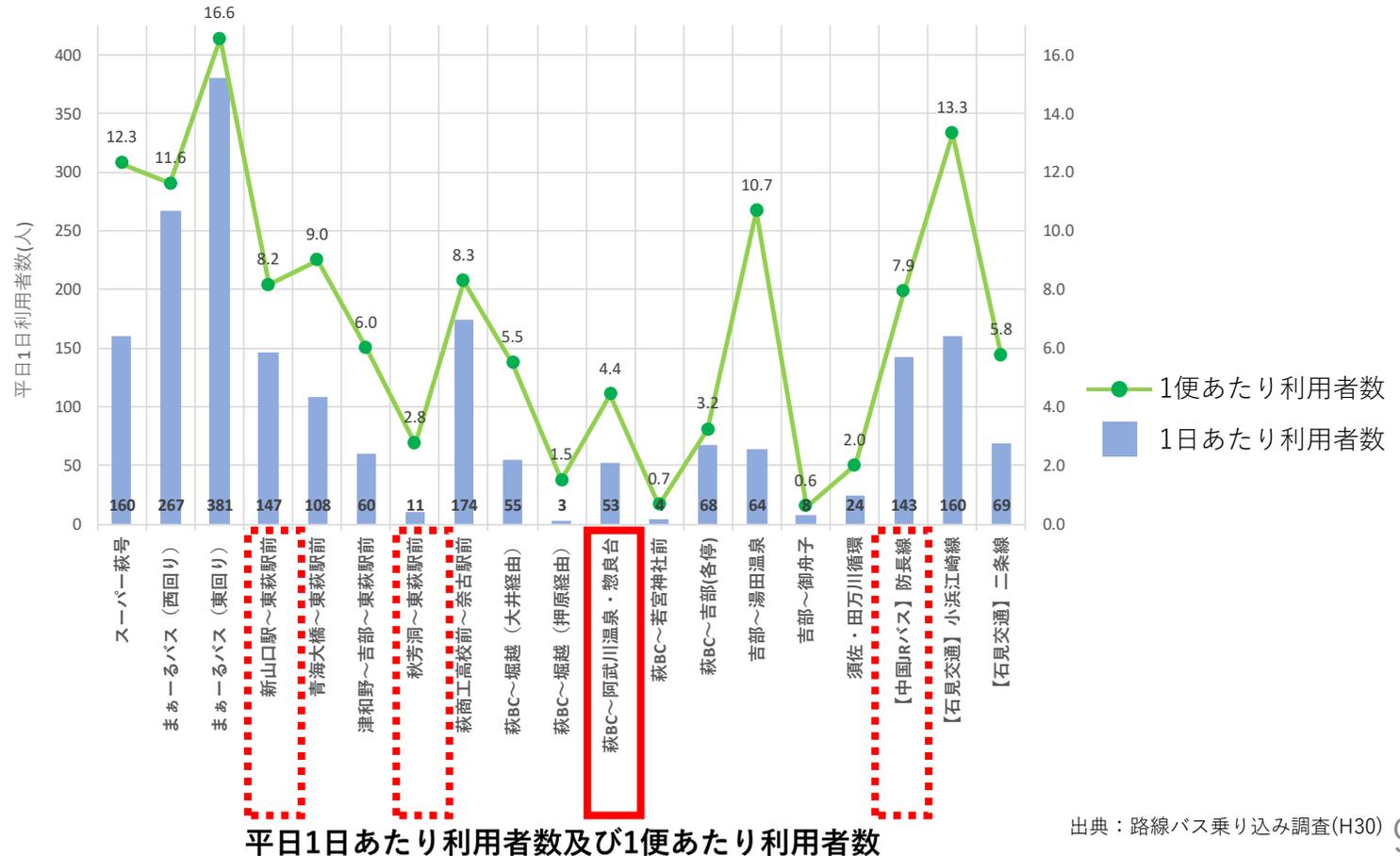
防長交通路線図



中国JRバス路線図

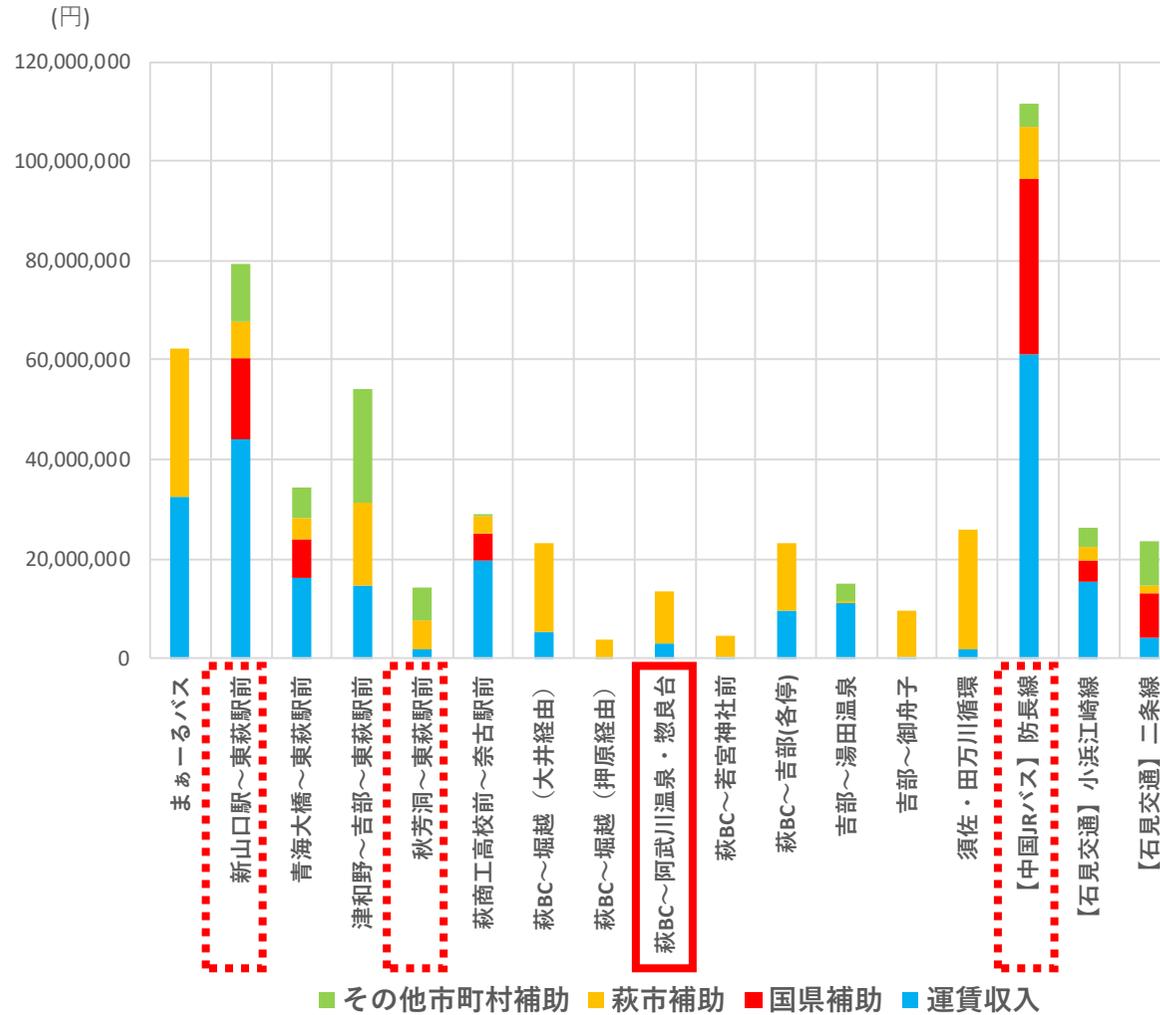
2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

- 萩市全域の路線バスの平日1日あたりの利用者数、1便あたりの利用者数を整理しました。
- 川上地域を運行する路線バスは、防長交通の「萩バスセンター～阿武川温泉・惣良台線」があり、阿武川を挟み国道262号線沿いには、防長交通の「新山口駅～東萩駅前線」「秋芳洞～東萩駅前線」及び中国JRバスの「防長線」などの広域幹線があります。
- 「萩バスセンター～阿武川温泉・惣良台線」は、1便あたりの利用者数が4人となっています。(50人/日、4人/便)



2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

- 萩市全域の路線バスの運賃収入及び国、県、萩市、その他自治体による補助金額を整理しました。
- **利用の低迷しているバス路線もあり、萩市の財政負担は増加傾向にあります。**



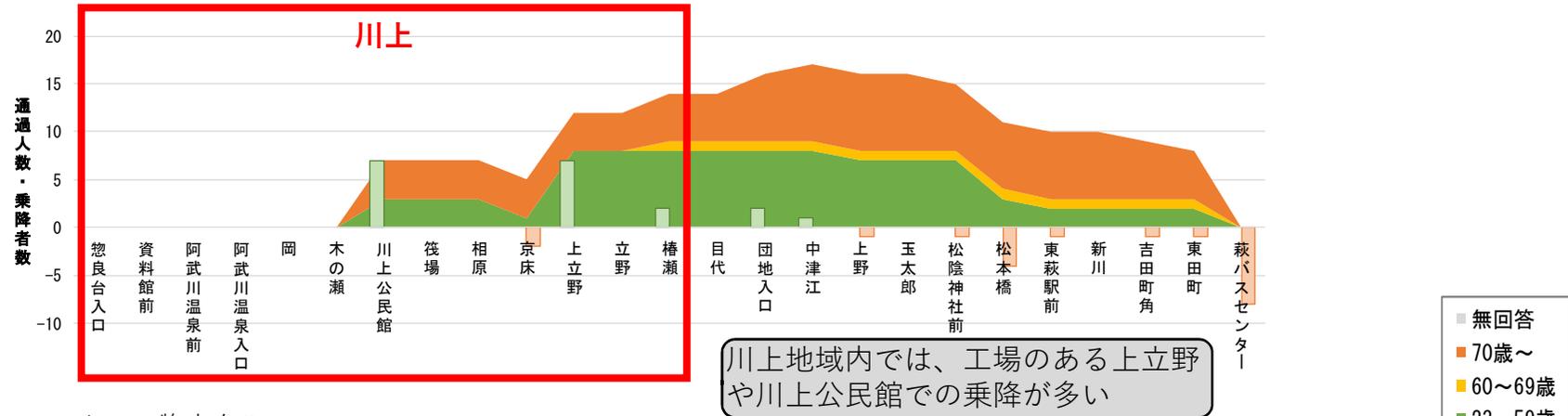
運賃収入・補助金額(欠損額)

2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

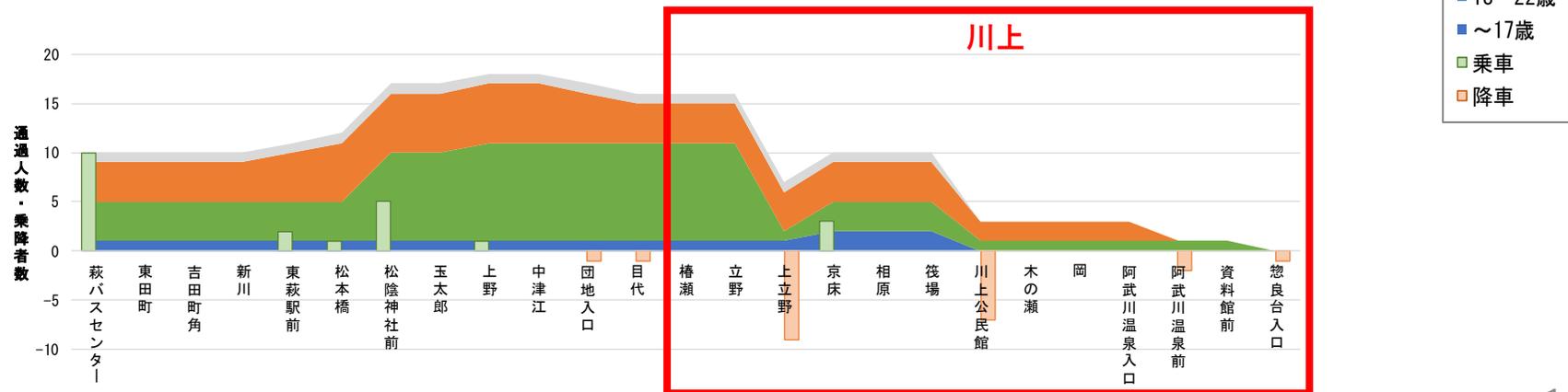
【防長交通 萩バスセンター～阿武川温泉・惣良台線】

- 萩バスセンター～阿武川温泉・惣良台線は、1日あたり12便運行しており、一定の利用が見られます。(50人/日、4人/便)
- 川上地域内では、工場のある上立野や川上公民館での乗降が多く見られます。
- 通勤や高齢者の買い物での利用が多く、川上地域と萩地域を結ぶ重要な路線となっています。

■惣良台入口→萩バスセンター



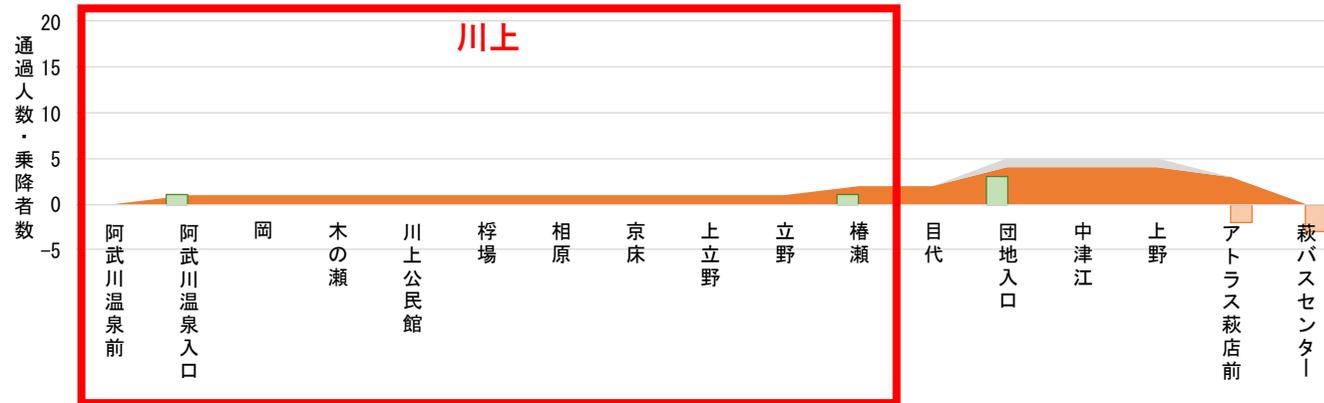
■萩バスセンター→惣良台入口



2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

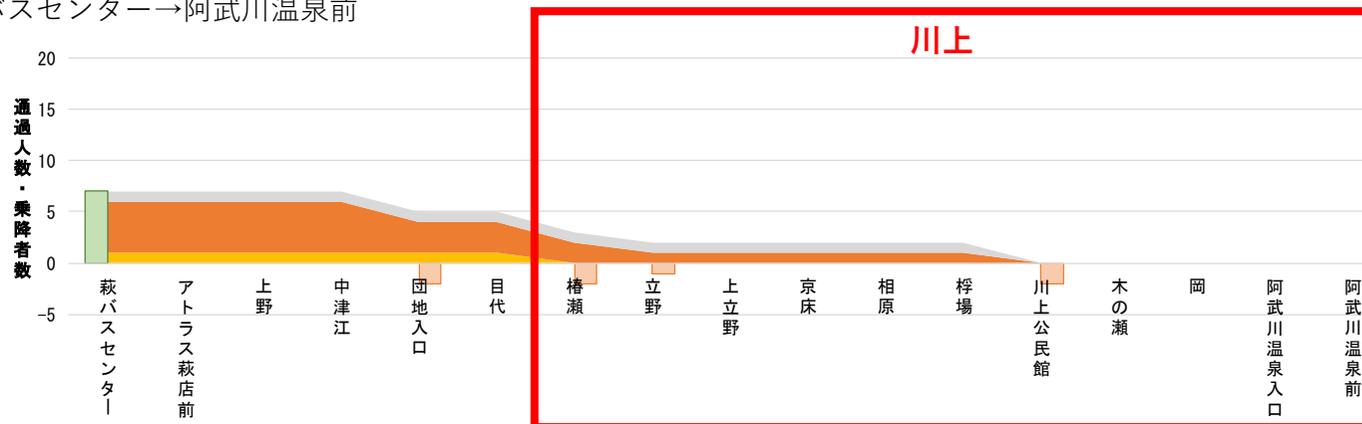
【防長交通 萩バスセンター～阿武川温泉・惣良台線】

■阿武川温泉前→萩バスセンター



川上地域内では、川上公民館での乗降が多い

■萩バスセンター→阿武川温泉前



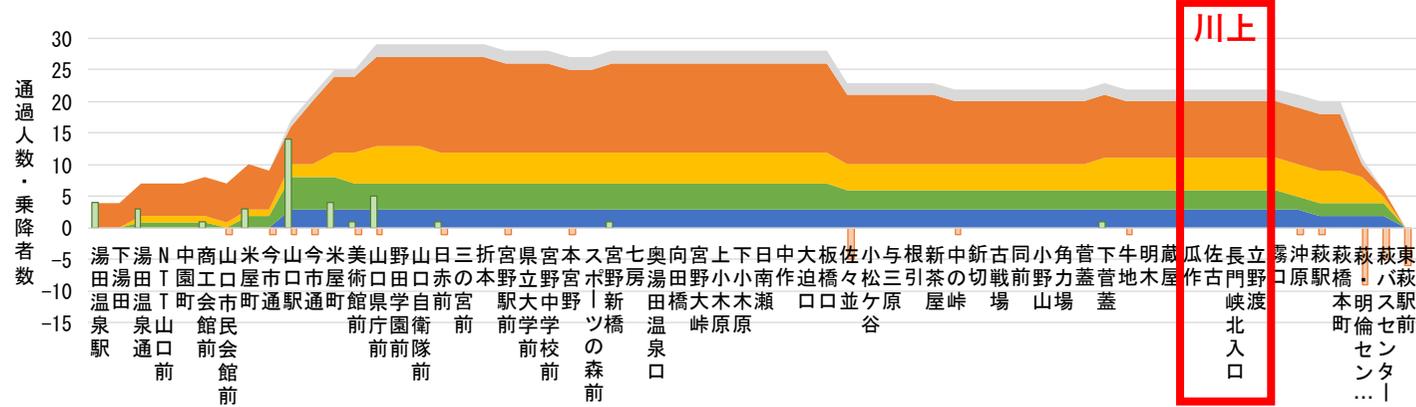
- 無回答
- 70歳～
- 60～69歳
- 23～59歳
- 18～22歳
- ～17歳
- 乗車
- 降車

2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

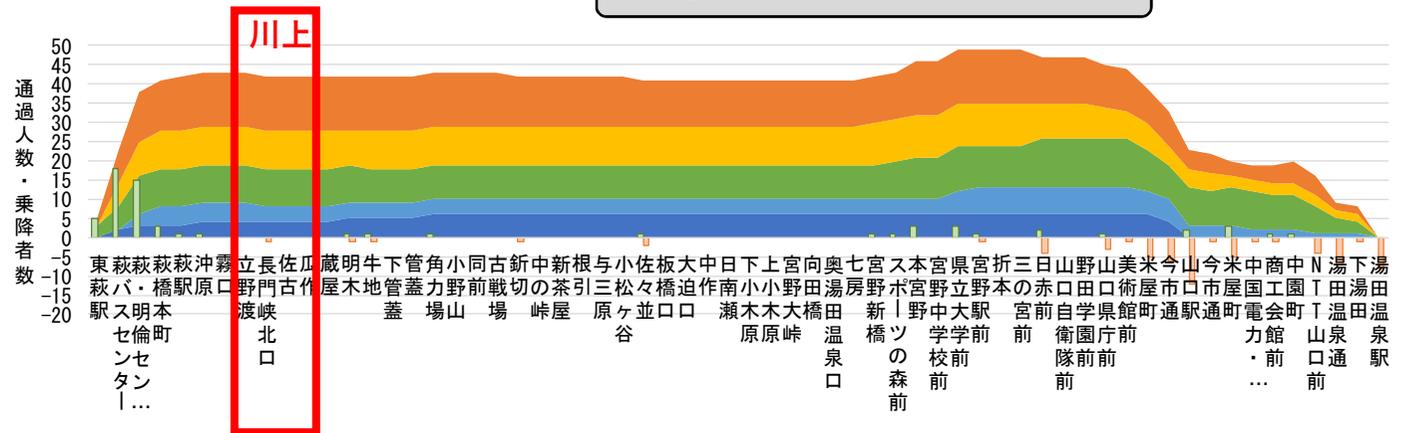
【中国JRバス 防長線】

- 防長線は、1日あたり18便運行しており、多くの利用者が見られます。(140人/日、8人/便)
- 川上地域内では、長門峡北入口で利用されています。

■湯田温泉駅→東萩駅前



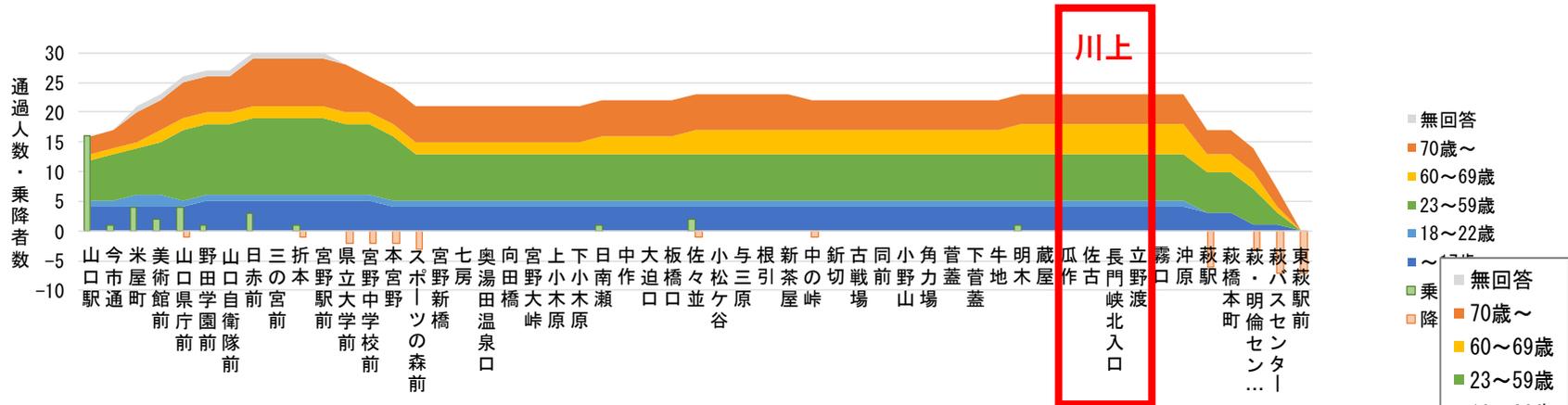
■東萩駅→湯田温泉駅



2.旭地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

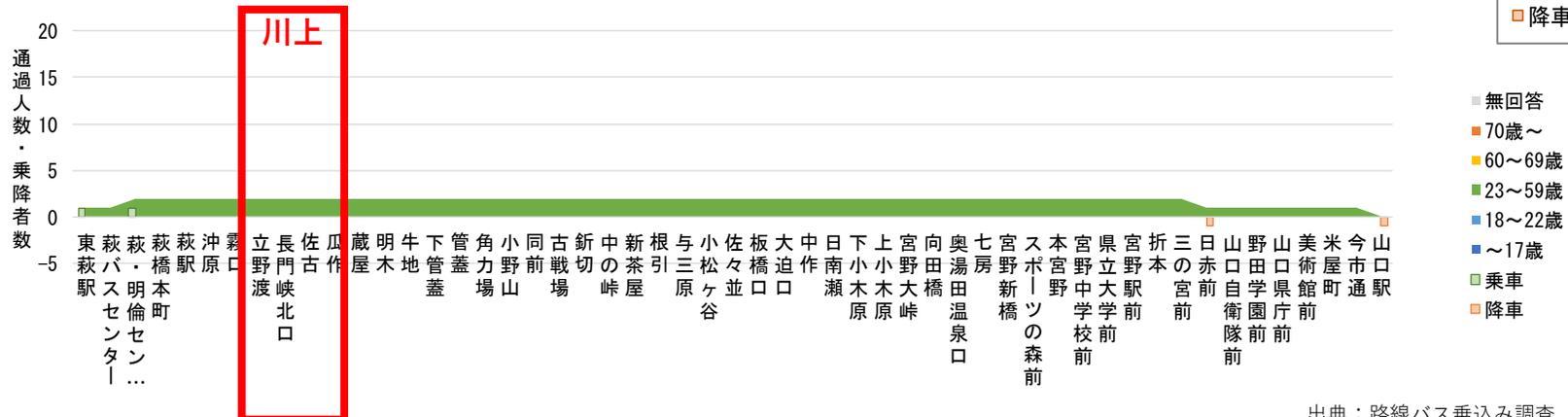
【中国JRバス 防長線】

■山口駅→東萩駅前



川上地域からはほとんど乗降がない

■東萩駅→山口駅



出典：路線バス乗込み調査 (H30)

東萩駅→山口駅は18:40発の最終便1本のみ

2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

【防長交通 秋芳洞～東萩駅前線】

- 秋芳洞～東萩駅前線は、1日あたり4便運行していますが、1日あたりの利用者数が11人と利用者が少ない状況です。 (11人/日、3人/便)
- 観光目的で利用される方がほとんどです。

■秋芳洞→東萩駅前



東萩駅前、萩バスセンター、サファリランド、秋芳洞での乗降のみ

■東萩駅前→秋芳洞



2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(ぐるっとバス)

- 萩市は、交通空白地域における住民の地域内移動手段の確保を目的として、「ぐるっとバス」を各地域で運行しています。
- 川上地域のぐるっとバスは、総合事務所を起終点として5ルートあり、曜日毎に運行時間が異なる定時定路線の運行です。
- ぐるっとバスとスクールバスにより、行きと帰りの便を確保しているものの、複雑な運行になっています。

月 曜 日			
○ 総合事務所	8:14	○ 総合事務所	11:15
・ 公民館	8:15	・ 診療所	11:15
・ 京床バス停	8:18	・ 公民館	11:17
・ 佐古団地入口	8:21	・ かわかみ苑前	11:22
・ 瓜作バス停	8:24	・ 阿武川温泉	11:24
・ 旭総合事務所前	8:30	・ 笹場	11:29
・ 佐古バス停	8:36	・ 相原バス停	11:31
・ 山田樋ノ口	8:38	・ 京床消防器庫前	11:33
・ 京床消防器庫前	8:41	・ 佐古団地入口	11:38
・ 相原バス停	8:43	・ 瓜作バス停	11:41
・ 笹場	8:45	・ 旭総合事務所前	11:47
・ 診療所	8:47	・ 佐古バス停	11:53
・ 公民館	8:48	・ 山田樋ノ口	11:55
・ かわかみ苑前	8:52	・ 公民館	12:01
・ 阿武川温泉	8:54	○ 総合事務所	12:02
・ 公民館	8:58		
○ 総合事務所	8:59	○ 総合事務所	13:20
		・ 診療所	13:20
		・ 公民館	13:21
○ 総合事務所	9:05	・ かわかみ苑前	13:25
・ 公民館	9:06	・ 阿武川温泉	13:27
・ 長谷上	9:14	・ 笹場	13:32
・ 診療所	9:23	・ 診療所	13:34
・ 惣ノ瀬上	9:35	・ 長谷上	13:43
・ 中ノ原	9:38	・ 診療所	13:52
・ 横板橋	9:40	・ 京床消防器庫前	13:57
・ 立野消防器庫前	9:43	・ 白上バス停	14:00
・ 権瀬バス停	9:47	・ 立野バス停	14:02
・ 立野バス停	9:50	・ 権瀬バス停	14:05
・ 白上バス停	9:52	・ 立野消防器庫前	14:09
・ 京床消防器庫前	9:55	・ 横板橋	14:12
・ 相原バス停	9:57	・ 中ノ原	14:14
・ 笹場	9:59	・ 惣ノ瀬上	14:17
・ 診療所	10:01	・ 公民館	14:28
・ 公民館	10:02	○ 総合事務所	14:29
・ かわかみ苑前	10:07		
・ 阿武川温泉	10:09	○ 総合事務所	15:35
・ 公民館	10:13	・ 公民館	15:38
○ 総合事務所	10:14	・ 遠谷上	15:40
		・ 上笹尾	15:51
		・ 杣木谷	15:58
		・ 惣良台	16:00
		・ 公民館	16:10
		○ 総合事務所	16:11

佐古・明木方面
行き

長谷・惣の瀬方面
行き

佐古・明木方面
帰り

佐古・明木方面
帰り

笹尾方面
帰り

笹尾方面

スクールバス運行表	
(杣木谷・笹尾・遠谷)	
朝 迎 え	
【月曜日・水曜日・金曜日】	
○ 総合事務所	7:10
・ 公民館	7:11
・ 惣良台	7:20
・ 杣木谷	7:22
・ 上笹尾	7:30
・ 遠谷上	7:41
・ 笹場	7:44
・ 公民館	7:45
・ 診療所	7:46
・ 総合事務所	7:47

スクールバスとの混乗

江舟・野戸呂方面 (行き・帰り)

スクールバス運行表 (江舟・野戸呂)					
朝 迎 え		夕 送 り			
【月曜～金曜日】		【月曜・火曜・水曜・金曜日】		【木曜日】	
○ 総合事務所	6:10	○ 小学校	15:40	○ 小学校	16:15
・ 公民館	6:11	・ 総合事務所	15:42	・ 総合事務所	16:17
・ 江舟上	6:50	・ 診療所	15:42	・ 診療所	16:17
・ 野戸呂上	7:07	・ 公民館	15:43	・ 公民館	16:18
・ 龍宮	7:17	・ 笹場	15:45	・ 笹場	16:20
・ かわかみ苑前	7:38	・ 熊谷	15:47	・ 熊谷	16:22
・ 舟戸	7:40	・ 舟戸	15:48	・ 舟戸	16:23
・ 熊谷	7:41	・ かわかみ苑前	15:50	・ かわかみ苑前	16:25
・ 公民館	7:43	・ 阿武川温泉	15:52	・ 阿武川温泉	16:27
・ 診療所	7:44	・ 龍宮	16:17	・ 龍宮	16:52
○ 総合事務所	7:45	・ 野戸呂上	16:27	・ 野戸呂上	17:02
		・ 江舟上	16:44	・ 江舟上	17:19
		・ 公民館	17:24	・ 公民館	17:59
		○ 総合事務所	17:25	○ 総合事務所	18:00

川上地域のぐるっとバスのチラシ (H30年)

2.川上地域の公共交通利用実態調査結果の概要(ぐるっとバス)

- 野戸呂・江舟方面以外は、1便あたりの利用者が1人程度と利用が低迷しています。
- 川上地域のぐるっとバスの主な利用目的は、川上診療所への通院や買物、温泉となっています。

野戸呂・江舟方面を除き、1人前後/便当たりと利用が低迷

0 2.5 5人/便

地域	地区	運行形態	運行方面	運行日	運行回数	H30実績	H29実績	H28実績	H27実績
川上	川上	定時定路線	佐古・明木方面	※週5日	2~4便	1.0	1.4	2.1	3.0
		定時定路線	長谷・惣の瀬方面	※週5日	2~4便	0.9	1.4	1.7	2.3
		定時定路線	共栄方面	※週2日	1~2便	0.7	1.0	0.8	1.0
		定時定路線	笹尾方面	※週3日	2~3便	1.1	1.5	1.3	1.6
		定時定路線	野戸呂・江舟方面	※週5日	2~3便	4.6	2.3	1.5	1.3

※スクールバスとの混乗も含めて週2~5日

※H30実績：H30年4月~12月の運行記録

ぐるっとバスの運行状況と利用状況

3.高齢者生活支援バスについて

- 川上地域では、住民主体による高齢者生活支援サービスとして、以下のサービスが実施されています。
- サロン活動での公共交通の利用や、住民主体の移動手段の推進により、持続可能な移動手段を確保することが必要です。

地 域	訪問型サービス（家事援助等）	通所型サービス（サロン活動等）	車 両
川 上	未定	名 称：あぶ川サロン 実施団体：川上あぶ川サロン運営委員会 活動内容：サロン活動（団体当番制） 実施回数：月1回	日産セレナ 平成29年11月27日購入

住民主体による高齢者生活支援サービス

4.川上地域の公共交通の課題と将来像(案)について

【①幹線と支線の役割分担の明確化や交通結節機能の強化等による効果的な運行体系の構築】

- 川上地域では、防長交通の萩バスセンター～阿武川温泉・惣良台線が萩地域への地域間路線として重要な役割を担っていますが、広域幹線である防長交通の新山口駅～東萩駅前線と中国ＪＲバスの防長線は、バス停が集落から離れているため、利用が低迷しています。
防長交通や中国ＪＲバスは、萩地域や山口市への広域的な幹線として、川上総合事務所などの交通結節点で地域内移動を担う支線と接続します。高齢者や高校生などの移動実態と公共交通への要望等を踏まえ、広域幹線とぐるっとバスなどの支線の役割分担の明確化を図り、交通結節機能の強化等（乗継環境や待合環境のなど）により、また、広域幹線や支線の運行形態も含めて、住民ニーズに応じたより効果的な運行体系を構築します。

【②様々な交通体系の組み合わせによる住民移動手段の確保】

- 交通事業者による広域幹線交通やぐるっとバス、自家用有償旅客運送、さらに住民の支え合いによる交通などの地域コミュニティ交通等の様々な交通体系を効果的に組み合わせることにより、交通事業者・行政・住民の協働による新たな公共交通網を形成し、暮らしを支える利用しやすい、持続可能な移動手段を確保します。

【③利用しやすい公共交通と利用促進】

- 高齢化が進展する中で、利用者に分かりやすく乗りやすい公共交通体系を構築するとともに、とりわけ周辺部における路線バス利用に係る運賃が割高であることから、福祉施策とも連携し、公共交通利用者の負担軽減策や全ての公共交通について、持続可能な移動手段を確保するため、利用者負担のあり方を検討します。